

社会保障の理念 熱く語る声

運動への活力 鮮明に

元副理事長 高橋 健作

小笠原先生のご逝去の報に接し、深い悲しみと衝撃を禁じ得ません。

私が開業したばかりで不安な日々を過ごしていた折、協会に入会し、初めて歯科部会に参加した際、温厚にして保険医運動に情熱を傾けられる先生のお姿に、心よりの敬意を抱いたことを今も鮮明に記憶しております。

当時、先生は既に歯科部会長と

を患われましたが、その気力・体力は少しも衰えることなく、むしろ一層のご活躍をなさっていたことに、ただただ驚嘆するばかりでした。弱音を吐かれることは一度もなく、常に前向きな姿勢を貫かれていたと記憶しております。

小笠原先生への感謝

監事 田中 敏章

小笠原先生が逝った。96才と高齢であったが、この先生だけは元氣な先生で、私たち歯科の会員を導いてくれた。協会の草創期から保険医運動の先頭に立ち、協会の役員としても会員のためにできることを常に考え、行動すること

き、治療後に近隣の蕎麦屋で美味しいそうに日本酒を召し上がり、穏やかな笑顔を見せてくださったことが、今も鮮明に思い出されます。先生が築かれた運動の礎を、不肖の弟子である私は継承できず、いつしか運動から遠ざかってしまいました。空の上から「仕方ないやつだな」と苦笑いされているのではないだろうか。しかし先生の志は神奈川県保険医協会の中にしっかりと根付いています。どうぞ安心して、安らかにお休みください。

合掌

保障について知識を深めなければならぬと自ら講師となり、2003年から約1年、真田是著『社会保障入門』を参考資料とし、懐かしい当時のオンボロビル2階事務所入口左手の衝立で開かれた小さなスペースで、いろいろな教

えて語ってくれた。公助、共助、自助について三つの均衡が民主的な社会保障の成立条件であること

おい、おまえ…

小笠原先生との30年

横浜支部長 洞澤 繁

「おい、おまえ、中区のおまえ…」小笠原先生は長い間、私のことを、そう呼んでいた。

平成になったばかりに開業した私は歯科医師会に当たり前のように入会し、すぐ広報委員を任せられ



と、自助だけでは格差が拡大してしまう、社会保障の理念とは何ぞや等、ほんとに熱く語ってくれた。数人での会だったが、充実した楽しい会であった。学ぶことの尊さを知った。

先生は歯科の運動、協会運動の中心でした。薫陶を受けた者の一人として今後も精進してまいります。小笠原先生には感謝ばかりです。長い間本当ありがとうございます。どうか安らかにお休みください。

いで、中でも小笠原先生は別格の存在であった。

厳しい意見を投げかける先生との討論は、午後10時を過ぎても終わる気配が無い時もあった。

診療と部会でクタクタになった私は、小笠原先生率いる軍団に引っ張られ、終電近くまで続く「居酒屋・小笠原セミナー」に付き合



故 小笠原先生の協会ご略歴

- 1975年 理事就任
- 1979年 副理事長就任
- 1999年 監事就任
- 2015年 顧問就任
- *この他、歯科部会長、保団連参与等を歴任。

【写真】

①国会行動、②保団連・関東ブロック協議会大会代表懇親交流会、③75歳以上の医療費2倍化反対！6.21スタート県民集会、④国会行動、⑤宣伝行動、⑥いのちまもる総行動、⑦理事学習会、⑧いのちまもる総行動、⑨、⑩医療・健康フェスティバル（⑨は洞澤氏撮影）



が、今、その年齢になった私が痛感するのは超人的な、そのパワーとバイタリティーであり、到底まねのできない行動力である。

